

# 健全化比率DB ( 荒川区 )

『健全化比率DB』は、健全化比率の基礎データからの分析、他団体との比較、独自比率の算定などができる、市区町村財政分析データベースです。

「\*」印は、財政統計研究所の算定データです。

資料作成/財政統計研究所		データ年度 選択団体名	2007(H19)年	2008(H20)年	2009(H21)年	2010(H22)年	2011(H23)年																																																																																																			
			荒川区	荒川区	荒川区	荒川区	荒川区																																																																																																			
健全化判断比率一覧	1-001	実質黒字比率(+) 又は 実質赤字比率(-)	3.65	4.95																																																																																																						
	1-002	実質赤字比率 *	3.86	5.20																																																																																																						
	1-003	早期健全化基準(11.25~15%)	-11.25	-11.25																																																																																																						
	1-004	(参考)公営比率 *	0.32	0.60																																																																																																						
	1-005	補正公営会計連結黒字比率(+) 又は 補正公営会計連結赤字比率(-)	0.33	0.63																																																																																																						
	1-006	連結実質黒字比率(+) 又は 連結実質赤字比率(-)	3.97	5.54																																																																																																						
	1-007	連結実質赤字比率 *	4.20	5.83																																																																																																						
	1-008	早期健全化基準(16.25~20%)	-16.25	-16.25																																																																																																						
	1-009	実質公債費比率(3ヵ年平均)	6.11	5.28																																																																																																						
	1-010	実質公債費比率 *	4.62	4.56																																																																																																						
	1-011	単年度実質公債費比率(本年度)	4.89	4.81																																																																																																						
	1-012	補正単年度実質公債費比率(本年度)	4.89	4.81																																																																																																						
	1-013	将来負担比率	-35.4	-49.2																																																																																																						
	1-014	将来負担比率 *	-37.5	-51.9																																																																																																						
	1-015	補正将来負担比率	-39.5	-55.1																																																																																																						
	1-016	修正将来負担比率	-41.9	-58.0																																																																																																						
	1-017	参考資料 *	5.48	4.89																																																																																																						
	1-018	臨時財政対策債発行可能額(本年度)/標準財政規模(本年度)	3.95	4.76																																																																																																						
	1-019	元利償還金等に係る基準財政需要額算入額(本年度)/標準財政規模(本年度)	17.93	25.54																																																																																																						
	1-020	標準財政規模増減率(5年)	11.47	19.40																																																																																																						
	1-021	補正標準財政規模増減率(5年)	3.61	4.36																																																																																																						
	1-022	人口増減率(5 (本年度3.31住基人口/5年前3.31住基人口))	5.95	5.95																																																																																																						
	1-023	人口増減率(5 (国調人口/前回・国調人口))	特別区	特別区																																																																																																						
	1-024	市町村類型等 (前年度市町村類型等)	3.65	4.94																																																																																																						
	1-025	財政統計研究所 * (切捨処理後の比率)	3.96	5.54																																																																																																						
	1-026	実質黒字比率(+) 又は 実質赤字比率(-)	6.1	5.2																																																																																																						
	1-027	連結実質黒字比率(+) 又は 連結実質赤字比率(-)	-35.3	-49.2																																																																																																						
	1-028	実質赤字比率	-	-				1-029	連結実質赤字	-	-				1-030	実質公債費比率(3ヵ年平均)	6.1	5.2				1-030	将来負担比率	-	-				実質赤字比率	2-031	実質黒字比率(+) 又は 実質赤字比率(-) *	切捨て	3.65	4.94			2-032	実質赤字比率(総務省)	切捨て	-	-			2-033	実質黒字比率(+) 又は 実質赤字比率(-) *	四捨五入	3.65	4.95			2-034	補正実質黒字比率(+) 又は 補正実質赤字比率(-) *	四捨五入	3.86	5.20			2-035	早期健全化基準(11.25~15%)		-11.25	-11.25			2-036	実質赤字額又は黒字額 (一が赤字)	A (本年度分)	2,125,231	3,016,715			2-037	標準財政規模(臨時財政対策債発行可)	B=C+D (本年度分)	58,174,463	60,990,675			2-038	標準財政規模(臨時財政対策債発行可)	C (本年度分)	54,989,172	58,007,168			2-039	臨時財政対策債発行可能額	D (本年度分)	3,185,291	2,983,507			2-040	実質赤字比率の算定に用いた、一般	一般会計等1	会計名	一般会計	一般会計		2-041	会計等の会計名と実質収支額 (1~	一般会計等1	実質収支額	2,125,231	3,016,715	
	1-029	連結実質赤字	-	-																																																																																																						
	1-030	実質公債費比率(3ヵ年平均)	6.1	5.2																																																																																																						
1-030	将来負担比率	-	-																																																																																																							
実質赤字比率	2-031	実質黒字比率(+) 又は 実質赤字比率(-) *	切捨て	3.65	4.94																																																																																																					
	2-032	実質赤字比率(総務省)	切捨て	-	-																																																																																																					
	2-033	実質黒字比率(+) 又は 実質赤字比率(-) *	四捨五入	3.65	4.95																																																																																																					
	2-034	補正実質黒字比率(+) 又は 補正実質赤字比率(-) *	四捨五入	3.86	5.20																																																																																																					
	2-035	早期健全化基準(11.25~15%)		-11.25	-11.25																																																																																																					
	2-036	実質赤字額又は黒字額 (一が赤字)	A (本年度分)	2,125,231	3,016,715																																																																																																					
	2-037	標準財政規模(臨時財政対策債発行可)	B=C+D (本年度分)	58,174,463	60,990,675																																																																																																					
	2-038	標準財政規模(臨時財政対策債発行可)	C (本年度分)	54,989,172	58,007,168																																																																																																					
	2-039	臨時財政対策債発行可能額	D (本年度分)	3,185,291	2,983,507																																																																																																					
	2-040	実質赤字比率の算定に用いた、一般	一般会計等1	会計名	一般会計	一般会計																																																																																																				
2-041	会計等の会計名と実質収支額 (1~	一般会計等1	実質収支額	2,125,231	3,016,715																																																																																																					

2-042	16) 実質赤字比率=A/B*100が負数の場合における、A/B*100の絶対値	一般会計等2	会計名					
2-043		一般会計等2	実質収支額					
2-044		一般会計等3	会計名					
2-045		一般会計等3	実質収支額					
2-046		一般会計等4	会計名					
2-047		一般会計等4	実質収支額					
2-048		一般会計等5	会計名					
2-049		一般会計等5	実質収支額					
2-050		一般会計等6	会計名					
2-051		一般会計等6	実質収支額					
2-052		一般会計等7	会計名					
2-053		一般会計等7	実質収支額					
2-054		一般会計等8	会計名					
2-055		一般会計等8	実質収支額					
2-056		一般会計等9	会計名					
2-057		一般会計等9	実質収支額					
2-058		一般会計等10	会計名					
2-059		一般会計等10	実質収支額					
2-060		一般会計等11	会計名					
2-061		一般会計等11	実質収支額					
2-062		一般会計等12	会計名					
2-063	一般会計等12	実質収支額						
2-064	一般会計等13	会計名						
2-065	一般会計等13	実質収支額						
2-066	一般会計等14	会計名						
2-067	一般会計等14	実質収支額						
2-068	一般会計等15	会計名						
2-069	一般会計等15	実質収支額						
2-070	一般会計等16	会計名						
2-071	一般会計等16	実質収支額						
2-072		A	一般会計等	合計(1~16)	2,125,231	3,016,715		
連結実質赤字比率	3-073	連結実質黒字比率(+) 又は 連結実質赤字比率(-) *		切捨て	3.96	5.54		
	3-074	連結実質赤字比率(総務省)		切捨て	-	-		
	3-075	連結実質黒字比率(+) 又は 連結実質赤字比率(-) *		四捨五入	3.97	5.54		
	3-076	補正連結実質黒字比率(+) 又は 補正連結実質赤字比率(-) *		四捨五入	4.20	5.83		
	3-077	早期健全化基準(16.25~20%)			-16.25	-16.25		
	3-078	公営会計連結黒字比率(+) 又は 公営会計連結赤字比率(-) *		四捨五入	0.32	0.60		
	3-079	補正公営会計連結黒字比率(+) 又は 補正公営会計連結赤字比率(-) *		四捨五入	0.33	0.63		
	3-080	連結実質赤字額又は黒字額 (一が赤字)	A	(本年度分)	2,308,847	3,380,871		
	3-081	標準財政規模(臨時財政対策債発行)	B=C+D	(本年度分)	58,174,463	60,990,675		
	3-082	標準財政規模(臨時財政対策債発行)	C	(本年度分)	54,989,172	58,007,168		
	3-083	臨時財政対策債発行可能額	D	(本年度分)	3,185,291	2,983,507		
	3-084	連結実質赤字比率の	1	一般会計等	合計	2,125,231	3,016,715	
	3-085	算定に用いた、会計	2	公営事業1	事業区分	①	①	
	3-086	名と実質収支額また	3	公営事業1	会計名	国民健康保険事	国民健康保険事業特別会計	
	3-087	は資金不足・剰余額	4	公営事業1	実質収支額	41,121	39,855	
	3-088	(1~116) 連結実	5	公営事業2	事業区分	②	②	
3-089	質赤字比率	6	公営事業2	会計名	介護保険事業特	介護保険事業特別会計		
3-090	=A/B*100が負数の	7	公営事業2	実質収支額	142,410	305,672		
3-091	場合における、	8	公営事業3	事業区分	⑤	③		
3-092	A/B*100の絶対値	9	公営事業3	会計名	老人保健医療特	後期高齢者医療特別会計		

3-093	10	公営事業3	実質収支額	85	5,182		
3-094	11	公営事業4	事業区分	0	⑤		
3-095	12	公営事業4	会計名			老人保健医療特別会計	
3-096	13	公営事業4	実質収支額		13,447		
3-097	14	公営事業5	事業区分	0	0		
3-098	15	公営事業5	会計名				
3-099	16	公営事業5	実質収支額				
3-100	17	公営事業6	事業区分	0	0		
3-101	18	公営事業6	会計名				
3-102	19	公営事業6	実質収支額				
3-103	20	公営事業7	事業区分	0	0		
3-104	21	公営事業7	会計名				
3-105	22	公営事業7	実質収支額				
3-106	23	公営事業8	事業区分	0	0		
3-107	24	公営事業8	会計名				
3-108	25	公営事業8	実質収支額				
3-109	26	公営事業9	事業区分	0	0		
3-110	27	公営事業9	会計名				
3-111	28	公営事業9	実質収支額				
3-112	29	公営事業10	事業区分	0	0		
3-113	30	公営事業10	会計名				
3-114	31	公営事業10	実質収支額				
3-115	32	公営事業11	事業区分	0	0		
3-116	33	公営事業11	会計名				
3-117	34	公営事業11	実質収支額				
3-118	35	公営事業12	事業区分	0	0		
3-119	36	公営事業12	会計名				
3-120	37	公営事業12	実質収支額				
3-121	38	公営事業13	事業区分	0	0		
3-122	39	公営事業13	会計名				
3-123	40	公営事業13	実質収支額				
3-124	41	法適1	会計名	0	0		
3-125	42	法適1	資金不足・剰余額	0	0		
3-126	43	法適2	会計名	0	0		
3-127	44	法適2	資金不足・剰余額	0	0		
3-128	45	法適3	会計名	0	0		
3-129	46	法適3	資金不足・剰余額	0	0		
3-130	47	法適4	会計名	0	0		
3-131	48	法適4	資金不足・剰余額	0	0		
3-132	49	法適5	会計名	0	0		
3-133	50	法適5	資金不足・剰余額	0	0		
3-134	51	法適6	会計名	0	0		
3-135	52	法適6	資金不足・剰余額	0	0		
3-136	53	法適7	会計名	0	0		
3-137	54	法適7	資金不足・剰余額	0	0		
3-138	55	法適8	会計名	0	0		
3-139	56	法適8	資金不足・剰余額	0	0		
3-140	57	法適9	会計名	0	0		
3-141	58	法適9	資金不足・剰余額	0	0		
3-142	59	法適10	会計名	0	0		
3-143	60	法適10	資金不足・剰余額	0	0		

3-144	61	法適11	會計名	0	0		
3-145	62	法適11	資金不足・剰余額	0	0		
3-146	63	法適12	會計名	0	0		
3-147	64	法適12	資金不足・剰余額	0	0		
3-148	65	法適13	會計名	0	0		
3-149	66	法適13	資金不足・剰余額	0	0		
3-150	67	法適14	會計名	0	0		
3-151	68	法適14	資金不足・剰余額	0	0		
3-152	69	法適15	會計名	0	0		
3-153	70	法適15	資金不足・剰余額	0	0		
3-154	71	法適16	會計名	0	0		
3-155	72	法適16	資金不足・剰余額	0	0		
3-156	73	法適17	會計名	0	0		
3-157	74	法適17	資金不足・剰余額	0	0		
3-158	75	法適18	會計名	0	0		
3-159	76	法適18	資金不足・剰余額	0	0		
3-160	77	法適19	會計名	0	0		
3-161	78	法適19	資金不足・剰余額	0	0		
3-162	79	法非適1	會計名	0	0		
3-163	80	法非適1	資金不足・剰余額	0	0		
3-164	81	法非適2	會計名	0	0		
3-165	82	法非適2	資金不足・剰余額	0	0		
3-166	83	法非適3	會計名	0	0		
3-167	84	法非適3	資金不足・剰余額	0	0		
3-168	85	法非適4	會計名	0	0		
3-169	86	法非適4	資金不足・剰余額	0	0		
3-170	87	法非適5	會計名	0	0		
3-171	88	法非適5	資金不足・剰余額	0	0		
3-172	89	法非適6	會計名	0	0		
3-173	90	法非適6	資金不足・剰余額	0	0		
3-174	91	法非適7	會計名	0	0		
3-175	92	法非適7	資金不足・剰余額	0	0		
3-176	93	法非適8	會計名	0	0		
3-177	94	法非適8	資金不足・剰余額	0	0		
3-178	95	法非適9	會計名	0	0		
3-179	96	法非適9	資金不足・剰余額	0	0		
3-180	97	法非適10	會計名	0	0		
3-181	98	法非適10	資金不足・剰余額	0	0		
3-182	99	法非適11	會計名	0	0		
3-183	100	法非適11	資金不足・剰余額	0	0		
3-184	101	法非適12	會計名	0	0		
3-185	102	法非適12	資金不足・剰余額	0	0		
3-186	103	法非適13	會計名	0	0		
3-187	104	法非適13	資金不足・剰余額	0	0		
3-188	105	法非適14	會計名	0	0		
3-189	106	法非適14	資金不足・剰余額	0	0		
3-190	107	法非適15	會計名	0	0		
3-191	108	法非適15	資金不足・剰余額	0	0		
3-192	109	法非適16	會計名	0	0		
3-193	110	法非適16	資金不足・剰余額	0	0		
3-194	111	法非適17	會計名	0	0		

3-195		112	法非適17	資金不足・剰余額	0	0		
3-196		113	法非適18	会計名	0	0		
3-197		114	法非適18	資金不足・剰余額	0	0		
3-198		115	法非適19	会計名	0	0		
3-199		116	法非適19	資金不足・剰余額	0	0		
3-200		A	連結黒字赤字額	合計(1~116)	2,308,847	3,380,871		
4-201	実質公債費比率*		四捨五入	(3カ年平均)	6.11438	5.27645		
4-202	実質公債費比率(総務省)		切捨て	(3カ年平均)	6.1	5.2		
4-203	実質公債費比率1*		四捨五入	(前々年度分)	7.07421	6.65305		
4-204	実質公債費比率2*		四捨五入	(前年度分)	6.65305	4.61588		
4-205	実質公債費比率3*		四捨五入	(本年度分)	4.61588	4.56042		
4-206	補正単年度実質公債費比率*			(本年度分)	4.89493	4.80733		
4-207	実質公債費負担額1	A=(①~⑦)-(⑧~⑭・⑯)		(前々年度分)	3,879,566	3,703,243		
4-208	実質公債費負担額2	A=(①~⑦)-(⑧~⑭・⑯)		(前年度分)	3,703,243	2,579,079		
4-209	実質公債費負担額3	A=(①~⑦)-(⑧~⑭・⑯)		(本年度分)	2,579,081	2,649,023		
4-210	標準財政規模(臨時財政対策債発行可)	B=C+D=⑮~⑰		(前々年度分)	56,278,555	57,403,129		
4-211	標準財政規模(臨時財政対策債発行可)	C=⑮~⑰		(前々年度分)	52,470,594	53,893,375		
4-212	臨時財政対策債発行可能額	D=⑰		(前々年度分)	3,807,961	3,509,754		
4-213	元利償還等に係る基準財政需要額算入額	E=⑨~⑭・⑯		(前々年度分)	1,437,567	-1,740,790		
4-214	標準財政規模(臨時財政対策債発行可)	B=C+D=⑮~⑰		(前年度分)	57,403,129	58,174,463		
4-215	標準財政規模(臨時財政対策債発行可)	C=⑮~⑰		(前年度分)	53,893,375	54,989,172		
4-216	臨時財政対策債発行可能額	D=⑰		(前年度分)	3,509,754	3,185,291		
4-217	元利償還等に係る基準財政需要額算入額	E=⑨~⑭・⑯		(前年度分)	1,740,790	-2,300,387		
4-218	標準財政規模(臨時財政対策債発行可)	B=C+D=⑮~⑰		(本年度分)	58,174,463	60,990,675		
4-219	標準財政規模(臨時財政対策債発行可)	C=⑮~⑰		(本年度分)	54,989,172	58,007,168		
4-220	臨時財政対策債発行可能額	D=⑰		(本年度分)	3,185,291	2,983,507		
4-221	元利償還等に係る基準財政需要額算入額	E=⑨~⑭・⑯		(本年度分)	2,300,387	-2,903,391		
4-222	前々年度分の実質公債費比率の算定に用いた、実質公債費負担額等の算出に係る基礎数値	① 元利償還金の額(繰上償還額等を除く)		(前々年度分)	4,515,487	4,294,160		
4-223		② 積立不足額を考慮して算定した額		(前々年度分)				
4-224		③ 満期一括償還地方債の1年当たりの元金償還額		(前々年度分)	33,857	33,857		
4-225		④ 公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還額		(前々年度分)	0	5,830		
4-226		⑤ 一部事務組合等の起こした地方債に充てた額		(前々年度分)	135,115	155,141		
4-227		⑥ 公債費に準ずる債務負担行為に係るもの		(前々年度分)	632,654	955,045		
4-228		⑦ 一時借入金の利子		(前々年度分)	20	0		
4-229		⑧ 特定財源の額		(前々年度分)				
4-230		⑨ 事業費補正により基準財政需要額に算入された額		(前々年度分)	0	0		
4-231		⑩ 事業費補正により基準財政需要額に算入された額		(前々年度分)	0	0		
4-232		⑪ 災害復旧費等に係る基準財政需要額		(前々年度分)	0	0		
4-233		⑫ 災害復旧費等に係る基準財政需要額(準元金)		(前々年度分)	0	0		
4-234		⑬ 密度補正により基準財政需要額に算入された額		(前々年度分)	0	0		
4-235		⑭ 密度補正により基準財政需要額に算入された額		(前々年度分)	0	0		
4-236		⑮ 標準税収入額等		(前々年度分)	52,470,594	53,893,375		
4-237		⑯ 普通交付税額		(前々年度分)	0	0		
4-238		⑰ 臨時財政対策債発行可能額		(前々年度分)	3,807,961	3,509,754		
4-239		⑱ 地方財政法第5条の4第1項第2号及び地方債		(前々年度分)	1,437,567	1,740,790		
4-240		⑥の内訳	PFI事業に係る債務負担行為に係るもの	(前々年度分)	0	0		
4-241			いわゆる五省協定等により、利	(前々年度分)	206,309	206,426		
4-242			国営土地改良事業並びに独立	(前々年度分)	0	0		
4-243			地方公務員等共済組合が建設	(前々年度分)	0	0		
4-244			社会福祉法人が施設の建設の	(前々年度分)	14,333	14,333		
4-245			損失補償又は保証に係る債務	(前々年度分)		464,297		

4-246		地方公共団体以外の者の債務	(前々年度分)		0		
4-247		その他これらに準ずると認めら	(前々年度分)	122,946	0		
4-248		利子補給に係るもの	(前々年度分)	289,066	269,989		
4-249	前年度分の実質公債	① 元利償還金の額(繰上償還額等を除く)	(前年度分)	4,294,160	4,004,389		
4-250	費比率の算定に用い	② 積立不足額を考慮して算定した額	(前年度分)				
4-251	た、実質公債費負担	③ 満期一括償還地方債の1年当たりの元金償	(前年度分)	33,857	34,690		
4-252	額等の算出に係る基	④ 公営企業に要する経費の財源とする地方債	(前年度分)	5,830	5,620		
4-253	礎数値 前年度分	⑤ 一部事務組合等の起こした地方債に充てた	(前年度分)	155,141	182,787		
4-254	実質公債費比率	⑥ 公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	(前年度分)	955,045	651,980		
4-255	=A/(B-E)*100=[(①	⑦ 一時借入金の利子	(前年度分)	0	0		
4-256	~⑦)-(⑧~⑭・⑱)]/	⑧ 特定財源の額	(前年度分)				
4-257	[(⑮~⑰)-(⑨~⑭・	⑨ 事業費補正により基準財政需要額に算入され	(前年度分)	0	0		
4-258	⑱)]*100	⑩ 事業費補正により基準財政需要額に算入され	(前年度分)	0	0		
4-259		⑪ 災害復旧費等に係る基準財政需要額	(前年度分)	0	0		
4-260		⑫ 災害復旧費等に係る基準財政需要額(準元	(前年度分)	0	0		
4-261		⑬ 密度補正により基準財政需要額に算入され	(前年度分)	0	0		
4-262		⑭ 密度補正により基準財政需要額に算入され	(前年度分)	0	0		
4-263		⑮ 標準税収入額等	(前年度分)	53,893,375	54,989,172		
4-264		⑯ 普通交付税額	(前年度分)	0	0		
4-265		⑰ 臨時財政対策債発行可能額	(前年度分)	3,509,754	3,185,291		
4-266		⑱ 地方財政法第5条の4第1項第2号及び地方	(前年度分)	1,740,790	2,300,387		
4-267		⑥の内訳					
4-268		PFI事業に係る債務負担行為に係るもの	(前年度分)	0	0		
4-269		いわゆる五省協定等により、利	(前年度分)	206,426	206,549		
4-270		国営土地改良事業並びに独立	(前年度分)	0	0		
4-271		地方公務員等共済組合が建設	(前年度分)	0	0		
4-272		社会福祉法人が施設の建設の	(前年度分)	14,333	14,332		
4-273		損失補償又は保証に係る債務	(前年度分)		154,514		
4-274		地方公共団体以外の者の債務	(前年度分)		0		
4-275		その他これらに準ずると認めら	(前年度分)	464,297	0		
4-276		利子補給に係るもの	(前年度分)	269,989	276,585		
4-276	本年度分の実質公債	① 元利償還金の額(繰上償還額等を除く)	(本年度分)	4,004,389	3,771,186		
4-277	費比率の算定に用い	② 積立不足額を考慮して算定した額	(本年度分)				
4-278	た、実質公債費負担	③ 満期一括償還地方債の1年当たりの元金償	(本年度分)	34,690	20,667		
4-279	額等の算出に係る基	④ 公営企業に要する経費の財源とする地方債	(本年度分)	5,622	5,915		
4-280	礎数値 本年度分	⑤ 一部事務組合等の起こした地方債に充てた	(本年度分)	182,787	215,310		
4-281	実質公債費比率	⑥ 公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	(本年度分)	651,980	1,539,336		
4-282	=A/(B-E)*100=[(①	⑦ 一時借入金の利子	(本年度分)	0	0		
4-283	~⑦)-(⑧~⑭・⑱)]/	⑧ 特定財源の額	(本年度分)				
4-284	[(⑮~⑰)-(⑨~⑭・	⑨ 事業費補正により基準財政需要額に算入され	(本年度分)	0	0		
4-285	⑱)]*100	⑩ 事業費補正により基準財政需要額に算入され	(本年度分)	0	0		
4-286		⑪ 災害復旧費等に係る基準財政需要額	(本年度分)	0	0		
4-287		⑫ 災害復旧費等に係る基準財政需要額(準元	(本年度分)	0	0		
4-288		⑬ 密度補正により基準財政需要額に算入され	(本年度分)	0	0		
4-289		⑭ 密度補正により基準財政需要額に算入され	(本年度分)	0	0		
4-290		⑮ 標準税収入額等	(本年度分)	54,989,172	58,007,168		
4-291		⑯ 普通交付税額	(本年度分)	0	0		
4-292		⑰ 臨時財政対策債発行可能額	(本年度分)	3,185,291	2,983,507		
4-293		⑱ 地方財政法第5条の4第1項第2号及び地方	(本年度分)	2,300,387	2,903,391		
4-294		⑥の内訳					
4-295		PFI事業に係る債務負担行為に係るもの	(本年度分)	0	0		
4-296		いわゆる五省協定等により、利	(本年度分)	206,549	206,678		
4-296		国営土地改良事業並びに独立	(本年度分)	0	0		

4-297		地方公務員等共済組合が建設	(本年度分)	0	0			
4-298		社会福祉法人が施設の建設の	(本年度分)	14,332	14,333			
4-299		損失補償又は保証に係る債務	(本年度分)		1,044,953			
4-300		地方公共団体以外の者の債務	(本年度分)		0			
4-301		その他これらに準ずると認めら	(本年度分)	154,514	0			
4-302		利子補給に係るもの	(本年度分)	276,585	273,372			
将来負担比率	5-303	将来負担比率*	早期健全化基準(市町村350%政令市400%)	四捨五入	-35.363	-49.236		
	5-304	将来負担比率(総務省)		切捨て	-	-		
	5-305	補正将来負担比率*		四捨五入	-37.501	-51.902		
	5-306	修正将来負担比率*(連結実質黒字額を黒字要素として算定)		四捨五入	-39.496	-55.057		
	5-307	補正修正将来負担比率*		四捨五入	-41.883	-58.038		
	5-308	将来負担額	A	(本年度分)	51,279,684	45,789,603		
	5-309	充当可能財源等	B	(本年度分)	71,038,651	74,389,655		
	5-310	将来負担額(将来負担額から充当可能)	A-B	(本年度分)	-19,758,967	-28,600,052		
	5-311	標準財政規模(臨時財政対策債発行可)	C=E+F	(本年度分)	58,174,463	60,990,675		
	5-312	標準財政規模(臨時財政対策債発行可)	E	(本年度分)	54,989,172	58,007,168		
	5-313	臨時財政対策債発行可能額	F	(本年度分)	3,185,291	2,983,507		
	5-314	元利償還等に係る基準財政需要額算入	D(=実質公債費比率の⑨~⑭・⑱)	(本年度分)	2,300,387	-2,903,391		
	5-315	標準財政規模から元利償還等に係る	C-D	(本年度分)	55,874,076	58,087,284		
	5-316	将来負担比率の算定	将来負担額	地方債の現在高	27,772,449	24,907,930		
	5-317	に用いた、将来負担	債務負担行為に基づく支出予定額		4,426,236	3,125,451		
	5-318	額等の算出に係る基	公営企業債等繰入見込額		0	0		
	5-319	礎数値	将来負担	組合等負担等見込額	1,657,240	1,487,024		
	5-320	比率=[A-B]/[C-D]		退職手当負担見込額	17,423,759	16,269,198		
	5-321	*100		設立法人の負債額等負担見込額	計	0	0	
	5-322			地方道路公社	0	0		
	5-323			土地開発公社	0	0		
	5-324			第三セクター等	0	0		
	5-325			連結実質赤字額	0	0		
	5-326			組合等連結実質赤字額負担見込額	0	0		
	5-327		充当可能財源	充当可能基金	27,792,503	30,143,936		
	5-328		等	充当可能特定歳入	計	34,043	25,577	
	5-329				うち都市計画税	0	0	
	5-330			基準財政需要額算入見込額	43,212,105	44,220,142		
	5-331		A	将来負担額	合計	51,279,684	45,789,603	
	5-332		B	充当可能財源等	合計	71,038,651	74,389,655	
	5-333		A-B	将来負担比率算定の分子の額	合計	-19,758,967	-28,600,052	
	5-334		D	算入公債費等の額	合計	2,300,387	2,903,391	
	5-335		C-D	将来負担比率算定の方母の額	合計	55,874,076	58,087,284	
	参考比率	6-336		実質黒字比率(+ )又は 実質赤字比率(-)		3.65	4.94	
		6-337	財政統計研究所*	連結実質黒字比率(+ )又は 連結実質赤字比率(-)		3.96	5.54	
6-338		(切捨処理後の比率)	実質公債費比率(3ヵ年平均)		6.1	5.2		
6-339			将来負担比率		-35.3	-49.2		
6-340			実質赤字比率	-	-			
6-341		総務省 公表比率	連結実質赤字比率	-	-			
6-342			実質公債費比率(3ヵ年平均)		6.1	5.2		
6-343			将来負担比率	-	-			
6-344		参考比率分母(1)*	実質黒字額又は赤字額/歳入総額		2.48	3.54		
6-345		⇒ 歳入総額	連結実質黒字額又は赤字額/歳入総額		2.69	3.96		
6-346		実質公債費負担額/歳入総額		3.01	3.11			
6-347		将来負担額(将来負担額から充当可能財源等を控除した額)/歳入総額		-23.03	-33.53			

6-348	参考比率分母(2)*	実質黒字額又は赤字額/歳入一般財源等	3.39	4.75		
6-349	⇒ 歳入一般財源等	連結実質黒字額又は赤字額/歳入一般財源等	3.69	5.33		
6-350		実質公債費負担額/歳入一般財源等	4.12	4.18		
6-351		将来負担額(将来負担額から充当可能財源等を控除した額)/歳入一般財源等	-31.54	-45.08		
6-352	参考比率分母(3)*	実質黒字額又は赤字額/基準財政需要額	4.05	5.43		
6-353	⇒ 基準財政需要額	連結実質黒字額又は赤字額/基準財政需要額	4.39	6.09		
6-354		実質公債費負担額/基準財政需要額	4.91	4.77		
6-355		将来負担額(将来負担額から充当可能財源等を控除した額)/基準財政需要額	-37.61	-51.52		
6-356	参考比率分母(4)*	実質黒字額又は赤字額/基準財政収入額	13.59	18.66		
6-357	⇒ 基準財政収入額	連結実質黒字額又は赤字額/基準財政収入額	14.76	20.91		
6-358		実質公債費負担額/基準財政収入額	16.49	16.39		
6-359		将来負担額(将来負担額から充当可能財源等を控除した額)/基準財政収入額	-126.31	-176.91		
6-360	参考比率分母(5)*	実質黒字額又は赤字額/住民基本台帳人口	11.63	16.30		
6-361	⇒ 住民基本台帳人口	連結実質黒字額又は赤字額/住民基本台帳人口	12.63	18.26		
6-362		実質公債費負担額/住民基本台帳人口	14.11	14.31		
6-363		将来負担額(将来負担額から充当可能財源等を控除した額)/住民基本台帳人口	-108.10	-154.50		
6-364	健全化比率分子	実質黒字額又は赤字額	2,125,231	3,016,715		
6-365		連結実質黒字額又は赤字額	2,308,847	3,380,871		
6-366		実質公債費負担額	2,579,081	2,649,023		
6-367		将来負担額(将来負担額から充当可能財源等を控除した額)	-19,758,967	-28,600,052		
6-368	参考比率分母	(1)歳入総額	85,812,181	85,295,003		
6-369		(2)歳入一般財源等	62,647,718	63,447,694		
6-370		(3)基準財政需要額	52,539,109	55,516,375		
6-371		(4)基準財政収入額	15,643,445	16,166,047		
6-372		(5)住民基本台帳人口(2012(H24)年度より外国人人口を含む)	182,779	185,112		
対前年増減	7-373	実質赤字比率	実質黒字比率又は実質赤字比率		1.29	
	7-374	対前年増減*	補正実質黒字比率又は補正実質赤字比率		1.34	
	7-375		早期健全化基準		0.00	
	7-376	(参考)公営比率	公営会計連結黒字比率又は公営会計連結赤字比率		0.28	
	7-377	対前年増減*	補正公営会計連結黒字比率又は補正公営会計連結赤字比率		0.29	
	7-378	連結実質赤字比率	連結実質黒字比率又は連結実質赤字比率		1.57	
	7-379	対前年増減*	補正連結実質黒字比率又は補正連結実質赤字比率		1.63	
	7-380		早期健全化基準		0.00	
	7-381	実質公債費比率	実質公債費比率(3年平均)		-0.84	
	7-382	対前年増減*	単年度実質公債費比率		-0.06	
	7-383		補正単年度実質公債費比率		-0.09	
	7-384	将来負担比率	将来負担比率		-13.87	
	7-385	対前年増減*	補正将来負担比率		-14.40	
	7-386		修正将来負担比		-15.56	
	7-387		補正修正将来負担比率		-16.15	
	7-388	健全化比率分子	実質黒字額又は赤字額		891,484	
	7-389	対前年増減*	連結実質黒字額又は赤字額		1,072,024	
7-390		実質公債費負担額		69,942		
7-391		将来負担額(将来負担額から充当可能財源等を控除した額)		-8,841,085		
7-392	健全化比率分母	標準財政規模(臨時財政対策債発行可能額を含む)		2,816,212		
7-393	対前年増減*	標準財政規模(臨時財政対策債発行可能額を除く)		3,017,996		
7-394		臨時財政対策債発行可能額		-201,784		
7-395	参考比率分母	歳入総額		-517,178		
7-396	対前年増減*	歳入一般財源等		799,976		
7-397		基準財政需要額		2,977,266		
7-398		基準財政収入額		522,602		

団体指定・健全化比率DB

荒川区・2007年～2012年・連結会計決算

サンプル・一部表示 / 財政統計研究所

財政統計資料館  
<http://zaisei.net/>